

メーデー宣言(案)

本日、連合結成から25年目をむかえ第85回京都中央メーデーを開催した。

東日本大震災からすでに3年を経過したが、今もなお被災地の方々は日々の暮らしに大変な苦勞と不安を強いられている。また、昨年連続で発生した豪雨災害は、府内中北部にも大きな被害をもたらした。私たちは、東北での救援活動や2年連続で取り組んだ府内ボランティア救援活動を通じ、地域での日常的な人と人とのつながり、すなわち地域共助の必要性を痛感した。連合京都は、復興・再生に関わり続け、また暮らしに必要な希望と安心のセーフティネットの一翼を担う役割認識を持って各構成組織、地域協議会と連携した取り組みを継続・強化していく。

連合の2014春季生活闘争では、月例賃金の引き上げに徹底してこだわり、非正規労働者、女性、若者をはじめとするすべての働く者の処遇の底上げ、格差是正を求めてきた。引き続き、その成果を府内地域に拡げていく役割を果たす。

私たちは、「人への投資」を経営側に求める。これに逆行する労働者保護ルールの改悪に反対し、労働の尊厳をこれ以上劣化させない。そのために、あらゆる職場で、労働組合が果たす社会的意義をアピールし、一人でも多くの仲間を増やしていく取り組みが必要である。1000万連合及び10万人の連合京都を必ず達成させ、働く者のための政策実現につなげていく。

自由と平和を脅かす地域紛争やテロ、労働者の人権侵害、労働組合活動家への厳しい弾圧が世界各地であとを絶たない。私たちは、いかなる国に対しても、紛争やテロを許さず、平和の構築に向けて行動していくとともに、2015年4月の核兵器不拡散条約・NPT再検討会議に積極的に関わり、核兵器のない世界をめざす。また、2013年の世界の失業者がはじめて2億人を突破した。私たちは、国際労働組合総連合(ITUC)や諸外国の労働組合と連帯し、すべての人のディーセント・ワーク実現のために、人権侵害救済、紛争の平和的解決を訴え、世界の恒久平和の実現をめざして行動する。

歴史ある京都中央メーデーの名のもとに、これら重要課題に対して、すべての働く仲間が結集し、力を合わせ心をつなげて「STOP THE 格差社会!暮らしの底上げ実現」に総力をあげることを確認するとともに、志を同じくするすべての仲間との連携と連帯で、「働くことを軸とする安心社会」及び「笑顔でつながる安心社会」を地域から実現することを、今ここに宣言する。

2014年4月27日 第85回京都中央メーデー